

若宮小学校学校経営の基本構想図

市川市教育振興基本計画

目指す姿

- 互いに認め合い、自分の思いを実現できる子ども
- 誰もが幸せを感じ、ともに学び支え合う、家庭・学校・地域
- 基本理念
- 「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」

基本的な考え方

- 1 すべての人の可能性を引き出す教育
- 2 家庭・学校・地域の連携
- 3 学びの環境整備（教育 DX）

若宮小学校 教育目的：

本校の教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な子どもたちの育成を期して行う。

児童の実態

- ・明るく、素直で学校生活を楽しんでいる。
- ・国語、算数ともに学力の定着に課題がある。
- ・考えは持っていても表現することに慣れていない。

地域の実態

- ・代々この土地に住んでいる住民と、新しい住民とが混在している。
- ・農地や雑木林などが残る。
- ・起伏に富んだ土地で坂道や細い路地が多い。道幅が狭いのに交通量が多い。歩道のない通学路もある。

1 学校教育目標

「かしこく やさしく たくましく」
～自ら考え 心豊かに ねばり強く生きる子どもの育成～

2 経営方針

みんなのよさをみんなでつなぐ、楽しい学校

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の充実
- 2 互いを認め合う人間関係の構築
- 3 命や健康であることを大切にする
- 4 信頼される学校づくり
- 5 9年間を通しての子どもたちの育成

3 めざす子ども像

わをつなぎ かんがえ みとめあい やりぬく子

- 考えたことを表現したり友達と比べたりして深められる子
- 友達の良いところを見てやさしくできる子
- 目標をもち最後までやりぬく子

4 経営の重点

確かな学力

「主体的・対話的で深い学び」の充実

- 基礎基本の定着
- 言語能力の育成
(読書活動の充実と図書資料活用の推進)
- 学習端末の活用推進
- 個に応じた指導の充実
- 学力テストの活用
- 体験的学習の計画的な推進

豊かな心

互いを認め合う人間関係の構築

- 道徳教育・人権教育の充実
- いじめ等の問題行動の早期発見・解決
- 生徒指導・教育相談体制の維持
- 学級活動を基盤とした特別活動の充実

健やかな体

命や健康であることを大切にする

- 安全に対する意識の向上
- 体力の向上
- 望ましい生活習慣の継続
- 食育の推進

保護者・地域・関係機関との連携

信頼される学校づくり

学校運営協議会
地域学校協働本部

避難拠点連絡協議

公民館

PTCA

自治会・子ども会

- ① 地域の教育力の活用
- ② 保護者の立場にたった情報発信
- ③ 必要な支援への迅速な対応
- ④ 学校運営協議会と学校評価の活用

教育センター・児童相談所・子育て支援課など

9年間を通しての子どもたちの育成

四中ブロック連携協議会による連携

- ・おはよう運動・サイエンスパーク
- ・合同引き渡し訓練の実施
- ・学習規律の統一化
- ・イエローリボン運動
- ・理科の共同研修（授業研究日の参観等）